



公益財団法人 日本対がん協会

活動指針

がんは生涯に2人に1人になる「国民病」です。でも、いたずらに怖がったり遠ざけたりせず、正しい知識をもって対処すれば、予防できたり、がんになっても落ち着いて対応できたりします。日本対がん協会は、がん予防としての禁煙、早期発見のための検診、正確な情報の発信、がん教育、患者・家族支援などに力を注ぎ、がんと向き合うすべての人が安心して暮らせる社会づくりに取り組んでいます。



団体の特徴

日本対がん協会は1958年(昭和33年)に設立された公益財団法人です。元国立がん研究センター総長をトップに据え、理事や評議員にも、医学界、経済界、メディアなどで活躍する有識者を迎えて、各界と連携を深めながら、がん征圧活動を展開しています。全国46道府県に支部があり、がん検診をはじめとしたがん対策を行っています。厚生労働省や患者会、さまざまな業界の企業ともつながりを持ち、患者や国民の立場に立った働きかけを続けています。民間ならではの自在なネットワークを生かした日本対がん協会の活動は、皆様からのご寄附によって支えられています。

主な活動内容

●がん予防・検診の推進

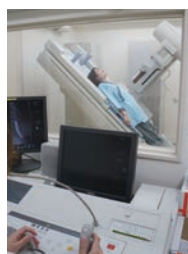
がん予防で重要な禁煙、がん検診の受診率及び検診レベルの向上に取り組んでいます。

●患者・家族の支援

がん患者や家族らに向けて、無料相談やイベント開催、情報発信などに力を入れています。

●正しい知識の普及啓発

ネット情報が氾濫する中で、患者や家族らが迷わないように正しい知識を広めています。



ご寄附いただいた場合

◆寄附金は寄附金控除の対象になります。

- ・11月末日頃、寄附金の領収書を郵送します。

寄附金控除を受けるためには、確定申告の際に寄附金の領収書を添付してください。

※寄附金控除は「所得控除」と「税額控除」いずれかを選択できます。確定申告の際に「所得控除」には寄附金の領収書のみで対応できます。「税額控除」は領収書に同封されている「税額控除に係る証明書」のコピーが必要となります。

◆活動内容を報告します。

- ・年1回の活動報告書と、毎月発行の機関紙「対がん協会報」を郵送します。

◆会員の特典

- ・1年更新の会員証を発行します。

◆その他

- ・ご寄附いただいた方へ感謝を込めて、感謝状を郵送します。
- ・ご寄附をいただいた場合、ご希望の方には朝日新聞地方版紙面にお名前を掲載します。

団体連絡先

公益財団法人 日本対がん協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-12 G-7ビルディング9階

TEL:03-3541-4771 FAX:03-3541-4783

URL:https://www.jcancer.jp

ご支援でできること

当商品を通じた寄附金は、日本対がん協会のがん征圧活動に使われます。

日本対がん協会の活動

がん予防・検診の推進

【禁煙・検診・研究】

医師会や行政などと連携して禁煙活動を推進しています。全国の支部で毎年約1100万人のがん検診を行い、約1万4000人のがんを発見、治療につなげています。検診無料クーポン券も配布しています。また、国立がん研究センターや大学と一緒に、血液バイオマーカーを用いた、手軽で精度の高い次世代の検診の研究を進めています。



患者・家族の支援

【がんサバイバー・クラブ】

2017年度の事業開始以来、がん情報やニュースの提供、交流会などを進めてきました。2019年には、がん患者らが集えるネット上のコミュニティ(SNS)や、食事の悩みを解決する投稿レシピサイトを立ち上げました。レシピは管理栄養士が監修してから公開しています。



【リレー・フォー・ライフ・ジャパン】

がんサバイバーや支援者らが夜通し歩き寄附を募るイベントを頂点としたチャリティ活動です。2018年度は全国48か所で開催。1年ぶりの再会を喜び、仲間とつながり、生きる力を得て、旅立った大切な人を追悼します。寄附金は、新しい治療法や新薬開発の研究助成に活用されます。



正しい知識の普及啓発

【ピンクリボンフェスティバル】

乳がん検診の大切さを伝え、患者を支える日本最大級のピンクリボンイベント。ポスターコンテスト、若い人も対象にしたシンポジウム、著名人や実力派の医師らをゲストに招いたウォーキング大会などを行っています。2003年の開始以来、乳がんの検診受診率が19.6%から44.9%と25.3ポイントもアップしたほか、男性の理解を深めることもできました。



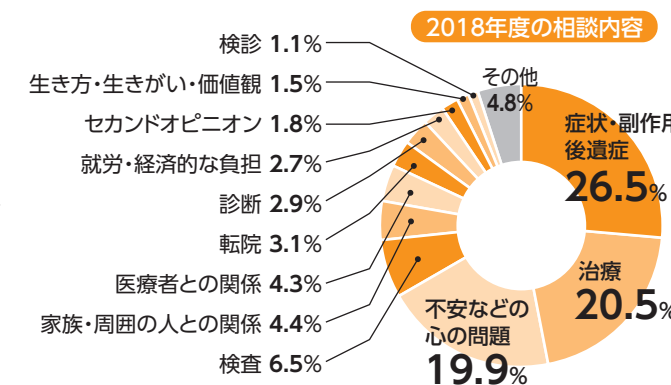
〈がん相談ホットライン〉

がん患者さんやご家族、大切な人からのご相談を看護師、社会福祉士が無料でお受けしています。相談件数は年間約1万件。内容は、「症状・副作用・後遺症」「不安などの心の問題」から、「人間関係」「生き方」「介護・育児」のような生活の悩みまで様々です。相談者の心に寄り添いながら、どうすればよいのかを一緒に考えます。

TEL:03-3541-7830

毎日(祝日・年末年始を除く)10-18時 予約不要・匿名

ほかに、専門医による電話・面接相談、社会保険労務士による就労電話相談もあります(予約制・無料)。



〈がん医療の発展のために〉

がん医療発展のためには、医師の養成と治療法の開発が欠かせません。「海外奨学医制度」を設け、数人の若手医師を毎年、全米有数のがん専門機関に研修派遣しています。また、新薬の開発など新しい治療法の研究に助成し、がん医療の未来を切り拓いています。

〈子どもたちのために〉

国の動きに先駆けて始めた「がん教育」では、全国の学校で専門医による出張授業を実施しました。また、専門医が監修した、がん教育の副教材を作成して、学校に届けています。多くの子どもたちが命の大切さを学び、偏見を持たずにがんという病気の良い知識を身に付けています。